

もくじ

| | | | |
|----------------|---|-----------|----|
| えび人 vol.72 | 2 | 市民の広場 | 10 |
| 今号の表紙 | 3 | ホール・ギャラリー | 12 |
| HUGHUG子育て | 4 | 相談 | 13 |
| 海老名市の職員数・給与の状況 | 6 | 図書館 | 14 |

「広報えびな」の共通マークとルール

日時・日にち 期間 時間 場所 対象 定員
 内容 講師 費用 持ち物 その他 任期
 条件 主催 Eメール ホームページ 問い合わせ
 申し込み 予約制 祝日を除く 休み

 高齢者対象の教室など
  えびな健康マイレージ対象

市外局番…省略している場合はすべて「046」です
 市〇〇〇課への郵送…「〇〇〇課へ」とあるものは「〒243-0492海老名市役所〇〇〇課行」で届きます
 市役所開庁時間…省略している場合は原則「月～金8時30分～17時15分」
 年末年始の閉庁日…12月29日～1月3日

今号の表紙

題字と写真は市民の方の作品を掲載しています。ご協力ありがとうございました。

題字

えびな

一文字一文字気持ちをこめて、書きました。
杉本小学校 加藤暖馬さん(9歳)



写真

タイトル：夕焼け線路
 撮影場所：海老名駅自由通路
 撮影者：中央在住
 西 美孝さん



編集雑記

ことはイベントが通常通り行われたり、感染症対策にも慣れてきたりと、日常を取り戻した感覚を持たれた方も多いのではないのでしょうか。私も先日、長らく休止されていたコミュニティーに参加し、忘れていた居心地の良さを体感してきました。心地良さと同時に、人とのつながりと居場所づくりに励んでおられる地域の方々も思い浮かび、感謝の気持ちも湧いていました。(あ)



EBIBITO vol.72



“こころ”通う地域を目指して

海老名に住んで約40年の村井さん。63歳から地域活動に携わり、行政の手が届かない部分を担う地域コミュニティーの重要性を実感したと話します。地域の身近な相談役である民生委員の活動にやりがいを感じ、会長も務めました。「高齢者宅を訪問すれば、顔を合わせてお話しして喜んでもらえる。良かったなと思いますよ」活動の原動力は「使命感」という村井さん。「新しいことはやらないタイプ」と言いながらも、堅実さを自らの「普通」と位置づけ、「普通」に先頭に立ってメンバーをまとめました。「地域を把握したくてもできずにもどかしい面もあったけれど、みんながついてきてくれたのはうれしかった」と晴やかな表情をのぞかせます。

最近では地域の高齢者サロン『ほのぼのサロン』で自ら育てた野菜の販売も始めました。「野菜が呼び水になってサロン参加者が増えればいいなど。無人販売も考えています」。今後も趣味を介して「こころ」通う地域を目指していきます。



将棋が一番好き。同好会で週2回の対局はリフレッシュにも



お気に入りの音楽を聴きながら散歩。1日8000歩が目標

今月のえび人

村井敏男さん
 (国分北在住・73歳)

国分北三丁目自治会長、中央地区民生委員児童委員協議会会長を歴任。カワセミ、シラサギなどのパードウオッチングを楽しみながらの散歩が日課。家庭菜園歴約30年。